

多職種連携のためのアカデミックリテラシー

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科哲学分野、人間科学科法学分野、人間科学科心理学・行動科学分野、情報科学科数学分野、情報科学科医用工学分野、物理学科、化学科、生物学科、外国語学科英語分野、人間科学科体育学分野、附属図書館		
対象学年	1	区分/単位数	講義・演習/2単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

医療技術の複雑化に対応するために、また超高齢化に伴う全人的医療ケア提供のために、近年、専門職間の連携の重要性が増している。そして、こうした連携を実現するために、二種類以上の専門職が共に学び合う多職種(専門職)連携教育(Interprofessional Education:IPE)が広がりを見せている。本科目は、全学部の学生が混在する少人数グループを単位とし、クリティカルシンキング・ロジカルライティングの修得、図書館演習および医療をテーマとしたワークショップ活動を行うことで、IPEに必要なアカデミックリテラシー(大学で学ぶための諸能力)を学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

考える技術(クリティカルシンキング)、書く技術(ロジカルライティング)を通じて論理的な考え方や論理的な表現方法の基本を習得し、それらを応用することで、他者の発言や文章を統合的に再構成して理解し、自分の考えを整理して分かりやすく伝えることができるようになる。またこれによって、適切な質疑応答を含むコミュニケーションやプレゼンテーションの能力が高まる。図書館実習と文献検索演習によって、適切かつ正確な情報を検索・収集するスキルが身につく、自分の考えや表現に説得力と奥行きを与えることができるようになる。WSをグループで行なうことで、医療人としての意識が高まり、他職種の役割や責任および多職種を目指す人の考え方を理解し、尊重する態度が身につく。また、チームワークの重要性の意識、各自の役割に対する責任感が生まれ、チームに貢献するためには、自己主導型学修が大切であるという認識も形成される。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性を持ち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 発言(文章)に含まれる議論の構造を読み取り、隠れた前提を明示して、根拠の妥当性を批判的に検討することができる。
2. 主張・根拠・結論を備えた文章作成ができる。
3. レポートの作成方法を説明することができる。
4. 必要な情報を図書館やインターネットを利用して収集できる。
5. 調べた情報に根拠づけができる。
6. KJ法・二次元展開を使用して問題点を抽出・整理し、解決策を考え出して、それらを分かりやすく提示することができる。
7. 医・歯・薬・看護学部それぞれの職種の役割・責任を理解し、互いの立場を尊重することができる。
8. チームで考え、活動することの重要性を説明できる。
9. 相手の理解力にあわせた説明をすることができる。
10. チーム医療、保健医療福祉チーム員の機能と専門性、チーム医療の中での看護の役割について説明できる。
11. チーム医療の中での、相互の尊重・連携・協働について説明できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-A講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
C1・C2 4/15 (月) 1限	【授業内容】 多職種・アカデミックリテラシーガイダンス 1. チームで考え、活動することの重要性を説明することができる。 2. 多職種連携が重視されるようになった歴史的・社会的な背景を理解し、その意義を説明することができる。 【関連するSBO】 8、9 【事後学修：120分】 岩手医大のHPの「学部」にアクセスし、4学部の学部案内に目を通しておく。また「2023版岩手医科大学概要」(岩手医大HP→「岩手医科大学について」→「大学概要」→「2023版岩手医科大学概要」)を通読する。	哲学分野 林 研 准教授 三浦 康宏 助教 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授 香川 由美 助教 法学分野 廣瀬 清英 講師 体育学分野 佐々木 亮平 助教

C1 4/16 (火) 4限	【授業内容】図書館演習 1. 図書館を有効に利用して、情報を収集し、与えられた条件に相応しい書籍を探し出す方法を説明することができる。 【関連するSBO】3、4、5	附属図書館 司書
C2 4/22 (月) 3限	【事前学修:120分】スタディ・ナビゲーションの§9・§10に目を通し、疑問点を整理しておく。 【事後学修:120分】授業で指定された課題に取り組む。	
C1・C2 5/10 (金) 3限	【授業内容】考える技術1 1. 発言(文章)に含まれる議論の構造、隠れた前提、根拠を意識し、批判的に検討することができる。 【関連するSBO】1、2 【事前学修:120分】スタディ・ナビゲーションの§13に目を通し、ふりかえりワークに取り組む。§17を通読する。 【事後学修:120分】授業で取り上げなかった練習問題に取り組む。	哲学分野 林 研 准教授 三浦 康宏 助教 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授 香川 由美 助教 法学分野 廣瀬 清英 講師 体育学分野 佐々木 亮平 助教
C1・C2 5/17 (金) 3限	【授業内容】考える技術2 1. 隠れた前提を明示して、根拠の妥当性を批判的に検討することができる。 【関連するSBO】3、4、5 【事前学修:120分】スタディ・ナビゲーションの§17の「補足」に目を通し、不明な点があれば書き出す。 【事後学修:120分】授業で取り上げなかった練習問題に取り組む。	哲学分野 林 研 准教授 三浦 康宏 助教 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授 香川 由美 助教 法学分野 廣瀬 清英 講師 体育学分野 佐々木 亮平 助教
C1・C2 5/24 (金) 3限	【授業内容】書く技術1 1. 主張・根拠・結論を備えた論理的文章を作成することができる。 【関連するSBO】2、3 【事前学修:120分】スタディ・ナビゲーションの§14に目を通し、ふりかえりワークに取り組む。§18と§26を通読する。 【事後学修:120分】授業で取り上げなかった練習問題に取り組む。	哲学分野 林 研 准教授 三浦 康宏 助教 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授 香川 由美 助教 法学分野 廣瀬 清英 講師 体育学分野 佐々木 亮平 助教
C1・C2 5/31 (金) 3限	【授業内容】書く技術2 1. レポートとは何かを説明することができる。 2. レポートの作成方法を説明することができる。 【関連するSBO】2、3、4、5 【事前学修:105分】スタディ・ナビゲーションの§16に目を通し、ふりかえりワークに取り組む。 【事後学修:105分】WebClassの確認テストに取り組む。	哲学分野 林 研 准教授 三浦 康宏 助教 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授 香川 由美 助教 法学分野 廣瀬 清英 講師 体育学分野 佐々木 亮平 助教
C1・C2 6/7 (金) 3限	【授業内容】マインドマップ1 1. 思考プロセスをミニ・マインドマップで表現し、整理することができる。 【関連するSBO】1、2 【事前学修:120分】スタディ・ナビゲーションの§19に目を通し、不明な点があれば書き出す。 【事後学修:120分】授業で指定された課題に取り組む。	哲学分野 林 研 准教授 三浦 康宏 助教 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授 香川 由美 助教 法学分野 廣瀬 清英 講師 体育学分野 佐々木 亮平 助教
C1 6/12 (水) 1限	【授業内容】文献検索演習 1. 必要かつ適切な医療情報を図書館やインターネットを活用して収集することができる。 【関連するSBO】4、5	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
C2 6/18 (火) 4限	【事前学修:120分】スタディ・ナビゲーションの§11に目を通し、ふりかえりワークに取り組む。 【事後学修:120分】授業で指定された課題に取り組む。	附属図書館 司書

C1・C2 6/14 (金) 3限	<p>【授業内容】マインドマップ2 1. 思考プロセスをフル・マインドマップで表現し、整理することができる。 【関連するSBO】1、2 【事前学修：120分】前回課題に取り組んだ際の反省点をまとめておく。 【事後学修：120分】授業で指定された課題に取り組む。</p>	<p>哲学分野 林 研 准教授 三浦 康宏 助教 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授 香川 由美 助教 法学分野 廣瀬 清英 講師 体育学分野 佐々木 亮平 助教</p>
C1・C2 6/21 (金) 3限	<p>【授業内容】iPEG 1. 医療に関連する多様な職種について理解し、説明することができる。 事後学習：授業中のiPEGで取り上げられなかった職種、また取り上げられたが理解が不十分だと感じた職種を書き出し、それら職種のタスク内容を調べて整理しておく。 【関連するSBO】7、9 【事前学修：120分】スタディ・ナビゲーションの§23に目を通しておく。 【事後学修：120分】授業中のiPEGで取り上げられなかった職種、また取り上げられたが理解が不十分だと感じた職種を書き出し、それら職種のタスク内容を調べて整理しておく。</p>	<p>哲学分野 林 研 准教授 三浦 康宏 助教 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授 香川 由美 助教 法学分野 廣瀬 清英 講師 体育学分野 佐々木 亮平 助教</p>
C1・C2 7/5 (金) 3限	<p>【授業内容】ワークショップ① PBLWSオリエンテーション1 1. 問題解決型学修の意義を説明できる。 2. ワークショップの流れを説明することができる。 【関連するSBO】8、11 【事前学修：120分】スタディ・ナビゲーションの § 20、21に目を通し、不明な点を書き出す。</p>	<p>哲学分野 林 研 准教授 三浦 康宏 助教 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授 香川 由美 助教 法学分野 廣瀬 清英 講師 体育学分野 佐々木 亮平 助教 物理学科 小松 真 講師 英語分野 Jonathan Levine-Ogura 助教 Robert Ken Asano 助教</p>
C1・C2 7/5 (金) 4限	<p>【授業内容】ワークショップ② PBLWSオリエンテーション2 1. KJ法と二次元展開法について説明できる。 【関連するSBO】6、7、10 【事後学修：120分】練習課題で取り組んだ、KJ法と二次元展開法のプロダクトを完成させる。また、所属グループ、メンバー、ワークショップ会場を確認し、配布資料を読み直して、ワークショップ当日の流れを把握する。</p>	<p>哲学分野 林 研 准教授 三浦 康宏 助教 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授 香川 由美 助教 法学分野 廣瀬 清英 講師 体育学分野 佐々木 亮平 助教 数学分野 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 医用工学分野 高橋 史朗 教授 小野 保 講師 物理学科 奥村 健一 准教授 小松 真 講師 小田 泰行 講師 化学科 中島 理 教授 東尾 浩典 准教授 吉田 潤 講師 生物学科 松政 正俊 教授 三枝 聖 准教授 内藤 雪枝 助教 菅 孔太郎 助教 英語分野 柳谷 千枝子 講師 Jonathan Levine-Ogura 助教 松田 竜宙 助教 Robert Ken Asano 助教</p>
C1・C2 7/12 (金) 1限	<p>【授業内容】ワークショップ③ 1. KJ法と二次元展開法を実践することができる。 【関連するSBO】4、5、6、7、8、9、10、11 【事前学修：300分】図書館などで関連資料を収集し、これまで学修したクリティカルシンキング、ロジカルライティング、マインドマップの手法利用して、WS②修了後から自己学習課題に取り組む。</p>	<p>哲学分野 林 研 准教授 三浦 康宏 助教 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授 香川 由美 助教 法学分野 廣瀬 清英 講師 体育学分野 佐々木 亮平 助教</p>
C1・C2 7/12 (金) 2限	<p>【授業内容】ワークショップ④ 1. KJ法と二次元展開法をワークショップの課題に応用することができる。 【関連するSBO】6、7、8、9、10、11</p>	<p>数学分野 江尻 正一 教授 長谷川 大 助教 医用工学分野 高橋 史朗 教授 小野 保 講師 物理学科 奥村 健一 准教授 小松 真 講師 小田 泰行 講師 化学科 中島 理 教授 東尾 浩典 准教授 吉田 潤 講師 生物学科 松政 正俊 教授 三枝 聖 准教授 内藤 雪枝 助教 菅 孔太郎 助教 英語分野 柳谷 千枝子 講師 Jonathan Levine-Ogura 助教 松田 竜宙 助教 Robert Ken Asano 助教</p>
C1・C2 7/12 (金) 3限	<p>【授業内容】ワークショップ⑤ 1. KJ法と二次元展開法について意見交換することができる。 【関連するSBO】6、7、8、9、10、11</p>	<p>物理学科 奥村 健一 准教授 小松 真 講師 小田 泰行 講師 化学科 中島 理 教授 東尾 浩典 准教授 吉田 潤 講師 生物学科 松政 正俊 教授 三枝 聖 准教授 内藤 雪枝 助教 菅 孔太郎 助教 英語分野 柳谷 千枝子 講師 Jonathan Levine-Ogura 助教 松田 竜宙 助教 Robert Ken Asano 助教</p>
C1・C2 7/12 (金) 4限	<p>【授業内容】ワークショップ⑥ 1. 意見交換を踏まえて、グループの考えをまとめることができる。 2. グループの考えを発表することができる。 【関連するSBO】6、7、8、9、10、11 【事後学修：660分】ワークショップで明らかになった優先課題を実現する改善案を、図書館などで関連資料を収集し、これまで学修したクリティカルシンキング、ロジカルライティング、マインドマップの手法利用して作成する。</p>	<p>物理学科 奥村 健一 准教授 小松 真 講師 小田 泰行 講師 化学科 中島 理 教授 東尾 浩典 准教授 吉田 潤 講師 生物学科 松政 正俊 教授 三枝 聖 准教授 内藤 雪枝 助教 菅 孔太郎 助教 英語分野 柳谷 千枝子 講師 Jonathan Levine-Ogura 助教 松田 竜宙 助教 Robert Ken Asano 助教</p>

・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	スタディ・ナビゲーション	岩手医大・人間科学科・附属図書館		2024
参	新版 論理トレーニング	野矢茂樹	産業図書	2006
参	考える・まとめる・表現する	大庭コティさち子	NTT出版	2011
参	理科系の作文技術	木下是雄	中央公論新社	1981

・成績評価方法

<p>【総括的評価】 以下の各評価を総合して成績評価する。1. 考える技術・書く技術・マインドマップ・図書館演習・文献検索演習は、各会場担当者が学生の学修態度・提出課題を評価する。2. PBL-WSでは各グループの作業や意見交換について、適宜チューターがルーブリックを用いて評価を行う。s上で)を行い、科目責任者が全体の受講態度にかんする講評を行う。 考える技術・書く技術・マインドマップでは、フォローアップの時間を使って修得度の低かった項目を中心に学生指導を行う。</p> <p>【形式的評価】 講義毎のふりかえりワークで理解度を確認し、フィードバックする。</p>
--

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 PBL-WSでは各グループの作業や意見交換について、適宜チューターがアドバイス(会場およびWebClass上で)を行い、科目責任者が全体の受講態度にかんする講評を行う。 考える技術・書く技術・マインドマップでは毎回課題を課し、授業の修得度を確認し、修得度の低い学生には指導を行う。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):基礎分野 科学的思考の基盤</p>

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			